４．固定資産の減損関係

減損の兆候が認められた固定資産（減損を認識した場合を除く）に関する事項

⑴　第４研究館

・用途研究施設
・種類　建物、建物附属設備、工具器具備品
・場所　国立西キャンパス　東京都国立市
・帳簿価額　194,074,211円
・認められた減損の兆候の概要　当該資産の使用実績が著しく低下していることによります。
・当該資産は年間をとおして整備工事を実施したため、令和６年度は使用禁止としましたが、令和７年度以降は使用稼働の可能性が見込まれることから、減損の認識はしておりません。

⑵　国際学生宿舎Ｃ棟

・用途　学生寮
・種類　建物、建物附属設備
・場所　小平国際キャンパス　東京都小平市
・帳簿価額　89,797,077円
・認められた減損の兆候の概要　当該資産の使用実績が著しく低下していることによります。
・当該資産以外の棟で寮生を収容することができたため、使用実績が著しく低下しておりますが、令和７年度以降は使用が見込まれることから、減損の認識はしておりません。

⑶　国際学生宿舎Ｄ棟

・用途　学生寮
・種類　建物、建物附属設備
・場所　小平国際キャンパス　東京都小平市
・帳簿価額　226,119,539円
・認められた減損の兆候の概要　当該資産の使用実績が著しく低下していることによります。
・当該資産は改修工事のため、使用実績が著しく低下しておりますが、令和７年度以降は使用が見込まれることから、減損の認識はしておりません。

⑷　国立宿舎ＲＡ棟

・用途　職員宿舎
・種類　建物、建物附属設備
・場所　国立西キャンパス　東京都国立市
・使用しなくなる日　令和７年11月28日（最終入居者の退去状況により変わる可能性があります）
・使用しないという決定を行った経緯及び理由
　建物の耐震性が低く、安全性を担保することができないことから、当該施設の使用を廃止する決定がなされました。なお、当初は令和５年３月31日を最終退去予定日としておりましたが、最終退去予定日が令和７年11月28日に改められたため、上記の使用しなくなる日が変更となっております。
・使用しなくなる日における帳簿価額
　最終入居者の退去状況により使用しなくなる日が変わる可能性があるため、当該帳簿価額は記載しておりません。
・回収可能サービス価額及び減損額の見込額
　現時点において、使用廃止後の取扱いが未定であるため、当該見込額は記載しておりません。

⑸　国立宿舎ＲＢ棟

・用途　職員宿舎
・種類　建物、建物附属設備
・場所　国立西キャンパス　東京都国立市
・使用しなくなる日　令和７年11月28日（最終入居者の退去状況により変わる可能性があります）
・使用しないという決定を行った経緯及び理由
　建物の耐震性が低く、安全性を担保することができないことから、当該施設の使用を廃止する決定がなされました。なお、当初は令和５年３月31日を最終退去予定日としておりましたが、最終退去予定日が令和７年11月28日に改められたため、上記の使用しなくなる日が変更となっております。
・使用しなくなる日における帳簿価額
　最終入居者の退去状況により使用しなくなる日が変わる可能性があるため、当該帳簿価額は記載しておりません。
・回収可能サービス価額及び減損額の見込額
　現時点において、使用廃止後の取扱いが未定であるため、当該見込額は記載しておりません。

⑹　国立宿舎ＲＣ棟

・用途　職員宿舎
・種類　建物、建物附属設備
・場所　国立西キャンパス　東京都国立市
・使用しなくなる日　令和７年11月28日（最終入居者の退去状況により変わる可能性があります）
・使用しないという決定を行った経緯及び理由
　建物の耐震性が低く、安全性を担保することができないことから、当該施設の使用を廃止する決定がなされました。なお、当初は令和５年３月31日を最終退去予定日としておりましたが、最終退去予定日が令和７年11月28日に改められたため、上記の使用しなくなる日が変更となっております。
・使用しなくなる日における帳簿価額
　最終入居者の退去状況により使用しなくなる日が変わる可能性があるため、当該帳簿価額は記載しておりません。
・回収可能サービス価額及び減損額の見込額
　現時点において、使用廃止後の取扱いが未定であるため、当該見込額は記載しておりません。

⑺　電話加入権

・用途　電話加入権
・種類　電話加入権
・場所　国立西キャンパス　東京都国立市
・帳簿価額　377,000円
・認められた減損の兆候の概要　当該資産の市場価格が著しく下落していることによります。
・帳簿価額が回収可能サービス価額を上回っていないため、減損の認識はしておりません。
　なお、回収可能サービス価額は、正味売却価額より高い使用価値相当額を採用しており、ＮＴＴの公定価格により算定しております。